



市民向け自殺予防ゲートキーパー養成研修を開催 あなたの行動が自殺予防につながります！



近年、本市においては年間50人を上回る市民の尊い命が自殺により失われており、特に子ども・若者及び女性に増加傾向が見られます。今後、生きづらさを抱える市民の更なる増加が懸念されることから、市民(個人)に対し自殺に関する理解を促し、「ゲートキーパー※」として行動を起こしていただけるよう養成研修を実施しますので、取材をお願いします。

※ゲートキーパーとは…悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。「命の門番」。

1 趣旨・目的

自殺のリスク要因を抱える人の早期発見、早期対応を図るため、自殺や自殺関連事象に関する正しい知識を普及するとともに、自殺の危険を示すサインに気づき、声をかけ、話を聞き、必要に応じて専門職につなぎ、見守る「ゲートキーパー」の役割を担う人材を養成します。

※2022年度までの研修受講者数:延べ2,748人(受講者:薬剤師会、民生委員・児童委員、市民団体、市職員など)

2 研修対象者

明石市民(市内在住者・在勤者・在学者) 50名

3 開催日時

令和6年1月29日(月) 14:00~16:30(受付:13:30開始)

4 研修会場

あかし保健所 1階 多目的ホール(明石市大久保町ゆりのき通1-4-7)

5 申し込み方法

申し込みフォーム(<https://logoform.jp/f/9RpMA>)【応募フォーム二次元コード】



またはメール(hi-soudan@city.akashi.lg.jp)、電話(918-5669)、ファックス(918-5440)

6 研修内容

(1) 研修形式 対面集合形式

(2) 主な内容

外部講師(NPO法人ゲートキーパー支援センター・竹内 志津香理事長 別紙参照)により、「ゲートキーパーの役割」、「悩みを抱える人を適切に支援するための知識」、「関わりのポイント」などを解説するとともにグループワーク、声掛けや傾聴のロールプレイも実施。

【研修の様子(イメージ)】



7 特色

地域社会でゲートキーパーの役割を担う人材を増やし、自殺予防に向けた早期発見・対応などの行動化につなげるため、従前の出前講座方式に加え、市主催により初めて市民(個人)を対象として養成研修を行うものです。

講師 竹内 志津香 氏 プロフィール

職業訓練施設でキャリアコンサルタントの仕事に就いていたときに、「景気の悪化で仕事が決まらず自殺を考えてしまう」という相談を受けるようになり、傾聴やキャリアコンサルタントの知識だけでは対応できないと感じ、ゲートキーパーについて学ぶようになる。

その後、専門職だけでなく、一般の方にもゲートキーパー研修を受けてほしいと考え、当時、関西では養成講座を開催する団体が無かったことから、自ら養成支援に特化した「NPO 法人ゲートキーパー支援センター」を平成 24 年 12 月に伊丹市で立ち上げ、自殺防止の支援に乗り出す。

現在は、兵庫県や尼崎市など近隣自治体から養成講座開催業務を受託するなど、各地でゲートキーパー育成のための講座を行いながら、受講生の中から講師を育成することにも努めている。

【資格】

公認心理師

キャリアコンサルタント

2 級キャリアコンサルティング技能士

自殺危機初期介入スキル研究会認定講師

【現在の活動】

NPO 法人 ゲートキーパー支援センター 理事長

西宮市自殺対策管内連絡会議メンバー

京都府精華町自殺対策推進委員

伊丹市保健医療推進協議会委員 等

以上